

第三章

研究の方法

A. 研究の種類

本研究の目的は、結果が良ければ、メソッドは、アプローチ、技術、または教育のメディアは、実際の指導場面で使用できるように、有効性の方法、アプローチ、技術、または教材を明らかにする。本研究では実験的な手法を使用する。サンプルは、比較として一つだけのグループなので3つの実験方法のタイプのうち、事前実験研究を選んだ。つまり、この研究は、トリートメントをしてから、前と後の能力の違いが表示される。次は実験的な研究で必要がある作業の手順である。

1. 研究者は、彼の経験に基づいて問題を発見、
2. 調査される問題に関連する文献を見直し、
3. 特定し、研究で解決すべき問題を制限する、
4. 研究の仮説を策定する、
5. 完全な実験的研究デザインを作る、
6. 確立された手順と計画に沿って実験を行う、
7. 手順に従って得られたデータを処理する、
8. 研究の結果を報告する。

本研究で使用した試験デザインは、ひとつのグループの事前テストと事後テストの設計する。

事前テストは、トリートメントをする前にテストがある。このテストの目的は教えたことに対して学習の能力や知識を知るためである。

本研究では事前テストの機能は、オーディオリングアルアプローチで教えるの効果があるかどうか、その後事前テストの結果が後事後テストと比較されることである。事後テストでは、学習終了時にするテストである。事後テストの目的はどの程度にオーディオリングアルアプローチを使用して授業や学習活動に学習者の知識と能力の達成度を決定することである。この設計では、カタパン第1国立職業高校の3年生繊維1組が被験者のグループを1つ使用する。まず、能力を測り、そして一定期間にトリートメントをし、最後に二回目の能力を測る。

オーディオリングアルアプローチをしている実装する研究を利用する手順はづぎのように述べる。

1. オーディオリングアルアプローチを教えていたサンプルの能力の平均達成度を測定するために、事前テストすなわち T1 を着用する。
2. サンプルは X として、オーディオリングアルアプローチで決めた期間による指導の方法である。
3. 被験者 (X) が実験変数を課した後の学習成果を測定するため、事後テストすなわち T 2 を与える。

4. T1 と T2 比較をし、実験変数 X の使用の結果として相違点があるかどうかを判断するためである。
5. 差が有意であるかどうかを判断するために、このテストでは適切な統計的検定を適用する。

B. 研究用具

本研究では、テストとアンケートの形で用具を使用する。

1. テスト

上述のように本研究では実験的な方法を使用していることである。それで、テストは事前テストと事後テストの形で与えられる。ここに説明を述べる。

a. 事前テストと事後テスト

トリートメントをする前にサンプルの能力を測定するために、事前テストと事後テストを行う。事前テストと事後テストの開催で、サンプルの能力の変化がより明確に見られる。事前テストと事後テストに与えられるテストの質問は、8 つで日本語文がローマ字（アルファベット順）で書かれていた。テストの審査官としてローマ字を選んだ理由は以下のとおりである。

- 1) 学習者はひらがな又はカタカナが読めない。
- 2) 本研究では、発音に焦点を当てている。そのために使用するひらがなにしろローマ字にしろどちらかは問題にならない。

選んだ語彙と文型は、クラス 3 年生の繊維 1 組が学習したことである。学習者が知らない語彙や文型を与えられた場合、研究で評価が妨げられるのである。そのためカタパン第 1 国立職業高校が使われている「さくら 1 と 2」という日本語教科書に基づいて使う。

与えられた問題のための基準は 20 ポイントの音節、「長音」、「促音」、サ行とシャ行の混同、ザ行とジャ行の混同、「つ」の子音、リヤ・リュ・リョとリャ・リュ・リョの混同、ビヤ・ビユ・ビョとビャ・ビュ・ビョの混同である。行われる事前テストと事後テストでは、学習者はテキストを読んで録音することである。

事前テストの質問：

1. Ohayo gozaimasu. 2 poin
2. Koko wa byooin desu. 2 poin
3. Kyuu nin kazoku desu. 2 poin
4. Chichi wa keesatsukan desu. 3 poin
5. Ane wa isha desu. 1 poin
6. Haha wa kissaten wo yatte imasu. 3 poin
7. Doobutsu ga suki desuka. 3 poin
8. Watashi no shumi wa ryoori wo tsukuru koto desu. 4 poin

事後テストの質問：

1. Ribiya ni sunde imasu. 2 poin
2. Kyuu nin kazoku desu. 2 poin
3. Koko wa byooin desu. 2 poin

4. Chichi wa keesatsukan desu.3 poin
5. Ane wa isha desu.1 poin
6. Haha wa kissaten wo yatte imasu.3 poin
7. Pinpon ga Joozu desune.3 poin
8. Watashi no shumi wa ryoori wo tsukuru koto desu.4 poin



上記として事前テストと事後テストの番号 2、3、4、5、6、8 についてほぼ同じである。しかし、難しさの種類を変更することなく、いくつかの識別の問題を利用する。

b. トリートメント

オーディオ・リンガル・アプローチの段階は次のように書いてある。

- 1) ミム・メモ練習で覚える。
- 2) 小さなことまで発音を練習する。
- 3) ドリルで文型を練習する。
- 4) 習慣的に誤りを消す。

オーディオ・リンガル・アプローチの練習は次のように書いてある。

- 1) ミム。メモ練習
- 2) 文型練習：
 - a) 代入練習
 - b) 転換練習
 - c) 応答練習

トリートメントは 7 回行う。毎トリートメントは「長音」、
「促音」、サ行とシャ行の混同、ザ行とジャ行の混同、「つ」の子音、リヤ・リュ・リョとリャ・リユ・リョの混同、ビヤ・ビユ・ビョとビャ・ビュ・ビョの混同という問題点によって行う。

トリートメントのステップは、次のとおりである。

- 1) サンプルの知識に対応する語彙や文型を見つける。事前テストと事後テストと同様に、語彙や文型は、カタパン第 1 国立職業高校が使われている「さくら 1 と 2」という日本語教科書に用いられます。オーディオリンガルメソッドで発音を練習しやすくなるための使用する単語が、サンプルによって知られている単語である。しかし、6 番目と 7 番目の文では、サンプルで使用される語彙はあまり知られていない。語彙サンプルの習得がまだ少ないためである。しかし、本研究の目的は発音の能力を知るためなので、発音を中心を当て、あまり知らない単語を使っても問題ないと思う。使用される語彙約

10 である。これは日本語の学習に調整し、サンプルはわずか 10 の単語を学ぶ。以上単語より与えられた場合、それは発音の研究ではサンプルの能力の獲得を妨げる懸念されている。次は与えられる語彙や文型である。

トリートメント 1

拍ドリル : アー/ア, イー/イ, ウー/ウ, エー/エ, オー/オ

言葉ドリル : オカーサン/ オカサン

オニーサン/ オニサン

キュー/ キュ

オネーサン/ オネサン

イモート/ イモト

代入・転換練習 :

わたしはオカーサンです。/わたしはオカサンです。

わたしはオニーサンです。/わたしはオニサンです。

わたしはキューです。/わたしはキュです。

わたしはオネーサンです。/わたしはオネサンです。

わたしはイモートです。/わたしはイモトです。

応答練習 :

リナさんはオカーサンです。/リナさんはオカサンですか。

リナさんはオニーサンですか。/リナさんはオニサンですか。

リナさんはキューですか。/リナさんはキュですか。

リナさんはオネーサンですか。/リナさんはオネサンですか。

リナさんはイモートですか。/リナさんはイモトですか。

トリートメント 2

拍ドリル:

~カ/~ツカ, ~キ/~ツキ, ~ク/~ツク, ~ケ/~ツケ, ~コ/~ツコ

~サ/~ツサ, ~シ/~ツシ, ~ス/~ツス, ~セ/~ツセ, ~ソ/~ツソ

~タ/~ツタ, ~チ/~ツチ, ~ツ/~ツツ, ~テ/~ツテ, ~ト/~ツト

~パ/~ツパ, ~ピ/~ツピ, ~プ/~ツプ, ~ペ/~ツペ, ~ポ/~ツポ

ことばドリル : ヒトリコ/ヒトリッコ

キサテン/キッサテン

タテ/タッテ

シラト/シラット

パイナプル/パイナップル

代入・転換練習 :

こちらはヒトリコです。/こちらはヒトリッコです

こちらはキサテンです。/こちらはキッサテンです

こちらはタテです。/こちらはタッテです

こちらはシラトです。/こちらはシラットです

こちらはパイナプルです。/こちらはパイナップルです

応答練習 :

こちらはヒトリコですか。/こちらはヒトリッコですか

. こちらはキサテンですか/ こちらはキッサテンですか

こちらはタテですか/ こちらはタッテですか

こちらはシラトですか/ こちらはシラットですか

こちらはパイナプルですか/ こちらはパイナップルですか

トリートメント3

拍ドリル : サ/シャ, ス/シュ, ソ/ショ

言葉ドリル : イサ/イシャ

サシン/シャシン

スミ/シュミ

スフ/シュフ

ジソ/ジショ

代入・転換練習 : これはイサです/ これはイシャです

これはサシンです/ これはシャシンです

これはスミです/ これはシュミです

これはスフです/ これはシュフです

これはジソです/ これはジショです

応答練習 : これはイサですか/ これはイシャですか

これはサシンですか/ これはシャシンですか

これはスミですか/ これはシュミですか

これはスフですか/ これはシュフですか

これはジソですか/ これはジショですか

トリートメント4

拍ドリル : ザ/ ジャ, ズ/ ジュ, ゾ/ ジョ

言葉ドリル : ザマ/ ジャマ

ジョーズ/ ジョージュ

カゾク/ カジョク

ゾー/ ジョー

ドーズ/ ドージュ

代入・転換練習 :

これはにほんごでザマです/ これはにほんごでジャマです

これはにほんごでジョーズです/ これはにほんごでジョージュです

これはにほんごでカゾクです/ これはにほんごでカジョクです

これはにほんごでゾーです/ これはにほんごでジョーです

これはにほんごでドーズです/ これはにほんごでドージュです

応答練習 :

これはにほんごでザマですか/ これはにほんごでジャマですか

これはにほんごでジョーズですか/ これはにほんごでジョージュで

すか

これはにほんごでカゾクですか/ これはにほんごでカジョクですか

これはにほんごでゾーですか/ これはにほんごでジョーですか

これはにほんごでドーズですか/ これはにほんごでドージュですか

トリートメント5

拍ドリル : ツ/チュ

言葉ドリル : エンピツ/エンピチュ

アイサツ/アイサチュ

ツクル/チュクル

ケーサツカン/ケーサチュカン

ツイ/チュイ

代入・転換練習 :

あねはエンピツがすきです/あねはエンピチュがすきです

あねはアイサツがすきです/あねはアイサチュがすきです

あねはツクルがすきです/あねはチュクルがすきです

あねはケーサツカンがすきです/あねはケーサチュカン

がすきです

あねはツイがすきです/あねはチュイがすきです

応答練習 :

あねはエンピツがすきですか/あねはエンピチュがすきですか

あねはアイサツがすきですか/あねはアイサチュがすきですか

あねはツクルがすきですか/あねはチュクルがすきですか

あねはケーサツカンがすきですか/あねはケーサチュカン

がすきですか

あねはツイがすきですか/あねはチュイがすきですか

トリートメント 6

拍ドリル : ビヤ/ビヤ, ビユ/ビユ, ビョ/ビョ

言葉ドリル : ビョーイン/ビョーイン

イチビョー/イチビョー

ビュー/ビュー

ビヤク/ビヤク

リビヤ/リビヤ

代入・転換ドリル :

ビョーインにすんでいます/ビョーインにすんでいます

イチビョーにすんでいます/イチビョーにすんでいます

ビューにすんでいます/ビューにすんでいます

ビヤクにすんでいます/ビヤクにすんでいます

リビヤにすんでいます/リビヤにすんでいます

応答練習 :

ビョーインにすんでいますか/ビョーインにすんでいますか

イチビョーにすんでいますか/イチビョーにすんでいますか

ビューにすんでいますか/ビューにすんでいますか

ビヤクにすんでいますか/ビヤクにすんでいますか

リビヤにすんでいますか/リビヤにすんでいますか

トリートメント7

拍ドリル : リヤ/リヤ, リユ/リユ, リョ/リョ

言葉ドリル : リュー/リュー

イチリユー/イチリユー

リョーシ/リョーシ

リヤク/リヤク

リリヤ/リリヤ

代入・転換練習 : あにはリユーです/あにはリユーです

あにはイチリユーです/あにはイチリユーです

あにはリョーシです/あにはリョーシです

あにはリヤクです/あにはリヤクです

あにはリリヤです/あにはリリヤです

応答練習 : あにはリユーですか/あにはリユーですか

あにはイチリユーですか/あにはイチリユーで
すか

あにはリョーシですか/あにはリョーシですか

あにはリヤクですか/あにはリヤクですか

あにはリリヤですか/あにはリリヤですか

- 2) テキストの語彙と上記の文型に従って声を録音する。本研究では、発音に重点を置いているのでサンプルは発音とどのように日本のオリジナルの発音感じることができるのを録音する。選ばれた日本人は、東京から来た日本人であった。つまり、本研究で使用した録音は、よい結果を与えること期待する。

3) コンピュータのファイルに録音を組み込む。録音に使用したのは携帯電話なので、その後、編集できるようにコンピュータに挿入する必要がある。

4) サンプルに録音を聞かせる。

5) サンプルは録音を模倣する。

2. アンケート

アンケートを最適化されるため、本研究では使用するアンケートの種類は、コンビネーションアンケートである。

質問を定式化する前に、目的及び目標と必要なデータの性質について、検討すべき、問題の明確な全体像を持っているの必要がある。

研究は、理論や仮説、仮説を説明するかのテストを目的とされている場合、問題は、変数と仮説に密接に関連している必要があります。ご不明な点は、研究の目的に関連する。

回答者に与えられる形式のアンケートは次のとおりだった：

- a. .日本語の発音を教えることについての学習者の意見。
- b. オーディオリングルアプローチを使用して発音を教えることについての学習者の意見。
- c. オーディオリングルアプローチを使用して授業の発音の利点についての意見やアドバイス。

C. 研究所とサンプル

本研究では研究者が意図的サンプリングが科学的に正当化される意図や目的を持つ研究者自身の考察に基づいているテクニックを使用する。したがって、本研究では国立カタパン 1 技術高校の 3 年生でサンプルとしては、31 人の 3 年生繊維 1 組の学習者である。サンプルを選んだ理由はカタパン技術高校で日本語を学習している学習者は 3 年生しかいない。それに、3 年生繊維 1 組の日本語の知識は良い。3 年生繊維 1 組の学習者は日本語の学習に一般的に同じ知識を持っている。研究者は、データ処理のための意思決定純度の試料で不均等な機能を回避する。本研究所は国立カタパン 1 技術高校で 13, 5 キロチュリ通りバンドンである。